
重症障害児の支援拡充を議論 天童で東北大会

重い身体、知的障害のある人たちの父母らでつくる社会福祉法人「全国重症心身障害児（者）を守る会」の本年度の東北ブロック大会が2、3の両日、山形県天童市のホテルで開かれた。

初日は、会員約300人が参加。「最も弱いものを1人ももれなく守る」などとする基本理念を確認した。

同会運動推進委員会顧問の山崎国治さんが、福祉サービス費用の原則1割負担などを柱に4月に施行された「障害者自立支援法」の成り立ちや仕組みについて解説した。

3日は、本年度のスローガンとして「在宅の障害者への生活支援事業の充実」など5項目を採択した。

大会は東北6県の持ち回りで毎年行われており、今年で10回目。

2006年09月03日 日曜日
